



日新地区の防災と防災訓練の 取組について

福井市日新地区自主防災連絡協議会
会長 牧田 孝



我々日常は平穏な生活をしていますが、災害はいつ、どこで発生するかもしれません。地震、津波、水害、土砂災害、火山爆発など、想定外の災害が各地で発生しています。

予期せぬことに対応する為に、常に、対応出来るようにしておかなければなりません。人命第一を念頭に置き、訓練にて体験をして、自分の命は自分で守るなど自助、共助を一番の目標とすることが防災の基本と考えます。その為には、防災訓練と防災教育、防災研修を持って体験しておくことが必要と考えます。

福井市日新地区では以下のように防災訓練、防災教育、防災研修を行っています。

1 防災訓練関係

① 4月：緊急連絡、非常招集訓練

自治会の班長、自治会長、防災要員、防災会長、防災役員を対象に、中規模災害が発生した時の為に、緊急連絡網（電話で連絡）を駆使して緊急連絡、非常招集訓練を実施しています。一時避難所に避難集合後、点呼をし、ブロック防災指揮所で防災会長より指示を受け、防災資機材を準備し待機



緊急連絡、非常招集訓練

します。

防災本部は福井市日新公民館に置き、防災無線機にて状況の報告、確認を行います。

防災本部長は地区防災会長などの行動を把握し、指揮を取ります。

(約 200 名の訓練参加者があります)

② 6月：総合防災避難訓練

(6月の第2日曜日に実施)

8時の福井市防災センターからのサイレンと広報にて、日新地区全住民の総合防災避難訓練を実施しています。避難者の集計だけでなく、高齢者など未避難者の安否確認に重点を置いて実施しています。

各自治会の一時避難所で、自治会長、自治会の班長、防災要員が中心となって避難してこなかった家族宅に向いて点呼確認、記録をし、自治会長、防災会長、防災本部に報告をします。

高齢者、身障者、妊産婦、乳幼児など災害弱者に優しい、地区住民の共助を重んじた防災訓練を実施しています。

本年は防災本部を日新公民館に置き、避難状況集計表に基づき、避難者、未避難者などの集計を実施しました。1,302人の参加者があり、防災意識の高揚には大きな貢



総合防災避難訓練

献が出来たものと思っています。

③ 9月：災害発生時の避難所運営訓練

自治会長、防災要員、防災役員、地区各種団体長を対象に実施しました。

避難者（高齢者、妊産婦、乳幼児）を対象に、拠点収容避難所（日新小学校体育館）での運営についての訓練を実施しました。

避難所運営マニュアルに基づいて、避難者の受付、名簿作成、日新小学校体育館内での避難者配置、役割分担などの訓練をしました。



避難所運営訓練

2 教育研修関係

① 7月：小学生を対象とした防災教育

日新小学校にて小学生を対象とした避難訓練、防災講座、簡易担架作成訓練、簡易トイレ組立訓練などの研修を実施しました。

② 8月：公民館事業参加者を対象とした防災体験

日新公民館にて、公民館事業参加者を対象に、煙中体験、はしご消防車体験、防災資機材展示、防災〇×クイズなどの研修、体験を実施しました。

③ 11月：救急救命、AED取扱い研修

消防署救護隊による、被災者治療研修（止血、骨折時の三角巾など）やAED取扱い訓練を実施しました。

防災関係者だけではなく、日新地区社会福祉協議会、日新地区女性部の方々からも多数の参加者がありました。



はしご消防車体験